

単元名 場面と場面をつなげて、考えたことを話そう

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
 (2) 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉え、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもつことができる。
 (3) 登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、考えたことを話し合おうとする。

標準的な展開例

04010103_001

【教材名】白いぼうし (上 P. 15～P. 29)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。 ★場面と場面をつなげて、考えたことを話そう。 ○教科書 (P. 15) の題名やリード文から物語を想像する。</p> <p>○学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>○本文を読み、初発の感想を書く。</p> <p>2 場面と登場人物を整理し、中心となる人物の様子に気を付けて音読する。 ★人物の様子を考えながら音読しよう。 ○物語を読み、場面と登場人物について整理する。 　・中心となる人物と場面ごとの登場人物 　・どの場面で、誰が何をするか ○中心となる人物の様子に気を付けて音読する。</p> <p>3～5 不思議だと思った出来事を友達と話して、問いについて話し合う。 ★不思議だと思った出来事について考えよう。 ○不思議だと思った出来事をノートに書き出す。 ○不思議だと思った出来事を問いの形にし、発表し合う。 　・「女の子」はなぜ消えてしまったのか。 　・「松井さん」には、どうして「ちょう」の声が聞こえたのか。 ○問いについて、つながりのありそうな描写に着目して考える。</p> <p>○問いについて考えたことを友達と話し合う。</p> <p>○友達の考えを聞いて、もう一度読み返したり、他の見方がないかを考えたりする。</p> <p>6 問いについて考えたことをまとめる。 ★考えたことをまとめよう。 ○問いについて考えたことをノートにまとめる。</p> <p>7 全体を通して考えたことを発表して、学習のまとめをする。 ★考えたことを発表しよう。 ○考えたことを発表し合う。</p> <p>○「ふりかえろう」で単元の学びを振り返る。</p> <p>○「この本読もう」を読み、読書記録について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 (P. 7～8) を読み、3年生で習った物語の学習を想起させる。 並行読書をする場合は、教科書 (P. 28) 「車のいろは空のいろ」シリーズ作品を読ませ、人物の人柄を読み取らせるとよい。 一年間を見通して、国語辞典の使い方や漢字の学習の進め方、ノートの取り方などのルールを決めておくとよい。 新出漢字や難語句を確認する。 <p>・一行空きによって場面が分かれていることを確認させる。</p> <p>・場面ごとに表にまとめておく。</p> <p>【評】内容を意識しながら音読する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・前後の場面の様子に気を付けて読ませる。</p> <p>・色・におい・人物の様子を表す言葉に注目させる。</p> <p>【評】問いについて考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <p>・教科書 (P. 26～27) の「話し合いの例」を参考にするとよい。</p> <p>・叙述に基づいて発表し合うようにする。</p> <p>【評】叙述をもとに話し合ったり読み取ったりする活動を通して、考えをもつ「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 (P. 27) の「発表の例」を参考にさせる。 どの場面のどんな言葉からそう考えたのかも伝えるようにさせる。 「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。 教科書 (P. 28) 「この本読もう」で、読書を広げる観点を確かめ、読書記録例を参考に、読書記録をつける意識をもたせる。

【 備 考 】